

授業紹介〈絵・彫・デ・工・映・他〉

『 題材名 ; 「美術Ⅰ」 木彫 ―鳥の形― 』

学校名 ; 高知県立中村高等学校

教員名 ; 佐竹 健児

学校紹介・特色 ; 明治33年、高知県立第二中学校として開校以来、今年で創立112年目の伝統校。土佐の小京都と呼ばれる中村の北東、古城山の麓にあり、近くを四万十川の支流後川（うしろがわ）が流れている。

1学年5クラス、生徒数595名（男子生徒254名、女子生徒341名）の普通科高校。県立中村中学校が併設されて10年目、中高一貫教育校としてその特色が注目されている。

部活動が盛んで、陸上部、ソフトテニス部、柔道部、水泳部などが四国大会やインターハイに毎年出場している。昨年は美術部、本年度は将棋愛好会が「全国高等学校総合文化祭」に、また、漫画研究部が「第20回全国高等学校漫画選手権（まんが甲子園）」に出場するなど文科系部活動も熱心な活動を展開している。

美術科目の設置 ; 1年次で、「美術Ⅰ」・「音楽Ⅰ」・「書道Ⅰ」より選択必修2単位。

3年次で、「化学課題探求」・「生物課題探求」・「芸術Ⅱ（1年次履修に対応する芸術科目）」より選択3単位。

「美術Ⅰ」の講座編成 ; 3講座

1-1 ホーム 選択12名

1-2・3 ホーム 選択30名

1-4・5 ホーム 選択30名

「美術Ⅰ」年間計画概要 ; 1学期 … 「暖・寒の色彩と文字の構成」

「花を描く（水彩）」

2学期 … 「鉛筆画 木の葉、貝殻からイメージの世界へ」

「木彫 ―鳥の形―」、 「塑像 自刻半面像」

3学期 … 「自刻半面像の石膏取り」、 「静物素描（鉛筆）」

単元の設定について；

1年次の1学期、構成力と色彩の表現力を養うことを主眼として色彩構成を行う。また、事物の観察・描写、美しさを感じる心情を涵養することを目的として花を描く。2学期に入って、素描及びイメージ、構想を主目的とした鉛筆画の制作を行う。

美術に取り組む姿勢、美術に親しむ心情についても概ね「美術Ⅰ」の目標に沿って学習が進んでいる状況が視られる時期である。

本単元は彫刻分野の基本的な学習と位置付けるものである。材料は鋸、小刀で制作し易いバルサ材を用いる。空間に量塊を持った鳥の形としてバルサ角材から彫り出し、彫刻作品として成立させることを学習の主目的とする。また、導入部で彫刻家ブランクーシの言葉と作品を紹介し、現代彫刻の基本的な考え方の一端を学ばせたい。

単元学習計画； 全8時間設定（2時間続きの4回）

- 1限 …… 彫刻家ブランクーシの言葉と作品から現代彫刻の基本的な考え方の一端を学ぶ。  
参考作品を鑑賞。 構想。
- 2限 …… バルサ角材に下描きし、鋸で荒挽きする。  
小刀で形を掘り出す。
- 3～5限 …… 小刀で制作。 進度に個人差あり。進度の早い生徒から順次台座制作、磨きに入る。
- 6～7限 …… 磨き。サンドペーパーで磨く。台座に設置して仕上げ。
- 8限 …… 作品鑑賞会及び学習のまとめ。